

## 第54回 SCCJセミナー開催のご案内

### クレーム／トラブルから学ぶ化粧品開発 －安心・安全のために必要な品質の設計と保証－

本セミナーは、より良い化粧品を創るために必要な技術情報を提供すべく取り組んで参りました。

今回は、お客様に安心してお使いいただける化粧品品質の観点より、成分規制や安定性・安全性・容器評価といった製品開発時に不可欠な知見や技術から、発売後の皮膚トラブルや製品事故の現状と再発防止の取り組みについて、皮膚科医の先生をはじめ、業界内外から6名の講師をお招きしてお話しいたします。

これまで積み重ねてきた経験や気づきに学ぶ講演の後には、本セミナーの特色でもある講師の方々と直接意見交換できるフリーディスカッションの時間をご用意いたしました。講師の皆様と直にやりとりする中で、講演だけでは得られない新たなヒントも見つけられるものと存じます。こちらへも奮ってご参加ください。

プログラム及び講演要旨は別紙をご覧ください。

..... ご案内 .....

**日 時** 2019年9月20日(金) 10:00～18:25(受付開始9:30予定)

**会 場** きゅりあん(品川区立総合区民会館) 〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1  
セミナー:8階大ホール／フリーディスカッション:7階イベントホール

**申込期間** **2019年7月25日(木)～9月5日(木)23時59分 [締切厳守]**

(日付が変わると自動的に締切となり、Web画面上から申し込みができなくなります)

※Web参加申し込みシステムにて受け付けいたします。

※参加申し込み/キャンセルについての詳細は後述の各項目の記載をご確認ください。

**参加費**

SCCJ会員(正会員・準会員・シニア会員)	13,000円
代理(正会員が不参加の場合、1名のみ会員参加費で代理参加可)	13,000円
一般	19,000円
当日(会員・一般ともに同額)	19,000円

**振込先** みずほ銀行 銀座支店 普通 No.1797932  
「日本化粧品技術者会(ニホンケショウヒンギジュツシャカイ)」

**支払期限** **2019年9月12日(木)まで**に、前記の口座へお振込みをお願いします。

## <参加申込方法>

SCCJ Web サイト内、イベント「第54回 SCCJ セミナー」ページよりお申し込みください。

<https://www.sccj-ifsc.com/event>

- 受付完了メール受信のため、参加申込前にメールアドレスの入力間違いや、受信拒否設定がない事をご確認いただき、[sccj@sccj-ifsc.com](mailto:sccj@sccj-ifsc.com) を許可設定してください。
- 会員申し込みには会員 ID と、ご自身で登録したパスワードが必要です。「一般」で申し込まれると会員料金が反映されません。必ずログイン後「会員」を選択しお申し込みください。代理の方が参加される場合は、正会員 ID でログイン後、参加申込画面の「代理者による参加」にチェックされると代理参加者の入力フォームが表示されます。

SCCJ 会員 ID・パスワード照会：[https://www.sccj-ifsc.com/lost\\_pass/](https://www.sccj-ifsc.com/lost_pass/)

登録済のメールアドレス (SCCJ 配信メールが届くご自身のアドレス) をご入力頂くと、会員 ID とパスワードが登録メールアドレスへ自動送信されます。

※ 会員ご本人が登録した任意のパスワードは、事務局での管理はしていません。

※ 会員 ID 登録のメール認証を行っていない方はご利用できません。

## <お願い事項>

- Web 参加申し込みは 1 名毎の登録となります。

参加費を複数名分合算してお振込み頂く際は、合計額および参加者名等の明細と振込予定日を事務局(本部) [FAX \(045-222-1652\)](tel:045-222-1652) へご連絡ください。

明細をご連絡いただかない場合には、どなたの参加費であるか判断できないため、同一所属(企業・学校名)毎、受付順に入金処理いたしますのでご了承ください。

※ 入金確認業務の円滑化にご協力をお願いいたします。

## <キャンセル>

**キャンセル締切日：2019年9月12日(木)**

キャンセルの場合は、Web 受付番号、参加者名(所属企業・学校名)をお問い合わせ <https://www.sccj-ifsc.com/contact> より事務局(本部)を選択してご連絡ください。

- キャンセル締切日までに必ず事務局(本部)へ連絡をお願いします。参加費振込済みの場合には開催終了後に返金いたします。

キャンセル締切日以降のお申し出の場合、返金には対応いたしかねますのでご了承ください。

## <お問合せ先>

日本化粧品技術者会 事務局(本部) 担当：森、千葉

〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-11 資生堂グローバルイノベーションセンター内

TEL：045-222-1608 / FAX：045-222-1652

## <会場アクセス>

**きゅりあん(品川区立総合区民会館)**

マップ：<http://www.shinagawa-culture.or.jp/hp/page000000300/hpg000000268.htm>

アクセス：JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線 … 大井町駅 徒歩約1分

JR 駅ビル(アトレ) 向かい側 LABI (電気量販店) の 8F です。

# クレーム／トラブルから学ぶ化粧品開発 －安心・安全のために必要な品質の設計と保証－

## < スケジュール >

< 総合司会 吉武 裕一郎 (オープン化粧品(株)) >

時 間	題 目・講 師
10:00-10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 植田 光一

< 座長 伊藤 武利 (ライオン(株)) >

10:05-11:05	化粧品による皮膚障害の最近のトピックス 藤田医科大学 医学部総合アレルギー科 教授 矢上 晶子 先生
11:05-11:55	化粧品の使用場面に合わせた品質保証に必要な観点 安全性評価 ― 原料、商品、販売後 ― 株式会社資生堂 植木 拓朗 氏
11:55-13:10	昼 食 休 憩

< 座長 佐藤 正幸 (株)日本色材工業研究所 >

13:10-14:10	品質トラブル防止のための剤型別品質保証と安定性試験法の実際 化粧品技術アドバイザー 小林 進 氏
14:10-15:00	製品クレームに対し新製品設計段階で実施しておきたい容器評価について 株式会社トキワ 井上 隆 氏
15:00-15:10	休 憩

< 座長 松井 隆 (株)資生堂 >

15:10-16:00	化粧品の海外と日本の成分規制の相違 高橋化粧品技術相談所 高橋 守 氏
16:00-17:00	消費生活用製品の事故事例と安全対策 (独)製品評価技術基盤機構 製品安全センター 参事官 吉津 兼人 氏

< 総合司会 吉武 裕一郎 (オープン化粧品(株)) >

17:10-18:20	フリーディスカッション
-------------	-------------

18:20-18:25	閉会の挨拶 セミナー副委員長 早瀬 基
-------------	------------------------

## **演題 ① 化粧品による皮膚障害の最近のトピックス**

藤田医科大学 医学部総合アレルギー科 教授 矢上 晶子 先生

要旨：いわゆる“かぶれ”である接触皮膚炎の原因の第1位は過去から現在に至るまで“化粧品”である。近年、本邦では加水分解コムギによる小麦アレルギーや美白化粧品による脱色素斑など、重大な皮膚障害事例の発生が続いたが、その後も化粧品による皮膚障害事例の報告は後を絶たない。本講演では、皮膚障害事例の具体的な臨床症状や検査方法などを挙げると共に、皮膚障害事例を最小化することを目的に設立された一般社団法人 SSCI-Net (Skin Safety Case Information Network) の取り組みについて述べたい。

## **演題 ② 化粧品の使用場面に合わせた品質保証に必要な観点**

**安全性評価 ー 原料、商品、販売後 ー**

株式会社資生堂 植木 拓朗 氏

要旨：化粧品は多種多様な原料や材料で構成され、その剤形はもとより使用部位や使用方法も多岐に亘ることから、原料から商品に至るまで様々な状況にあわせた評価および安全性保証が必要になる。また、適切な評価を実施するためには、時代背景や法令、各種評価方法やガイドラインなど多くの情報を把握・理解する必要がある。本講演では安全性を保証するうえで参考になる情報を交えながら、化粧品開発時のポイントを紹介する。

## **演題 ③ 品質トラブル防止のための剤型別品質保証と安定性試験法の実際**

化粧品技術アドバイザー 小林 進 氏

要旨：安定性の優れた製品の開発は、「安定性理論の理解と処方設計および製造現場への応用」「過去のクレームの解析と原因究明」「剤型に対応した安定性評価法(試験法)の確立と品質保証水準の設定」が三位一体となることによって可能となる。本講演では、これらの事項について解説する。また、このような対応をとっていたにもかかわらず発生した新規性の高い製品での品質トラブルと解決事例について解説する。

## **演題 ④ 製品クレームに対し新製品設計段階で実施しておきたい容器評価について**

株式会社トキワ 井上 隆 氏

要旨：「重い」「折れる・抜ける」「漏れる」「噴霧しない・出ない」「傷がつく」「剥れる」等々、容器起因として発生するよくある製品クレームである。これらの指摘は新製品開発設計段階でしっかり予知する事で防ぐ事が可能である。○容器の適正重量、○中味の折れ抜け、○気密性、○ポンプディスペンサーの選び方、○容器の傷と印刷はがれ等、消費者の使用場面で発生するクレームに対し設計段階で確実に実施したい評価方法の一部を紹介する。

## **演題 ⑤ 化粧品の海外と日本の成分規制の相違**

高橋化粧品技術相談所 高橋 守 氏

要旨：昨年、化粧品の出荷額は初めて1兆7千億円以上(経産省統計)を超え、輸出額は輸入額の2.5倍以上と過去にない伸びを示している。その要因として、中国をはじめアジアの人達の購入及びそれらの国々への輸出と考えられている。最近、グローバル化が叫ばれているが、日本は成分規制の面で諸外国と比べかなり異なっている。本講演では、日本とEU、アセアン、中国等の使用可能か否かの成分規制の相違を示す。

## **演題 ⑥ 消費生活用製品の事故事例と安全対策**

(独)製品評価技術基盤機構 製品安全センター 参事官 吉津 兼人 氏

要旨：私たちが日常使用している消費生活用製品で思わぬ事故が発生している。設計や製造上に問題があるケースも多々あるが、消費者の誤使用や不注意な取扱いによる事故の方が重篤な被害に繋がっているため、事業者には最低限の法規制を遵守するだけでなく、想定される使われ方を検証し、より安全性を高めた製品を市場に供給していくことが期待される。事故の事例は枚挙に暇がないが、事故防止に向けた安全対策の一例を紹介する。